

1年生国語「故事成語」の取組について

- 1 ねらい ・古典に興味を持ち、古典に親しむ。
 ・訓読の仕方に注意しながら音読し、故事成語の意味を理解する。

2 指導計画

T1 教科担任（図書館司書教諭） T2 学校図書館司書

次	時	学 習 活 動	支援・留意点	資料・準備
1	1	○漢文特有の言い回しに注意して読む。 ○故事成語の意味を理解する。 ・「矛盾」の意味を知る。 ・「矛盾」という言葉を使った短文作りをする。	・「矛盾」の文章を繰り返し読むことで、漢文特有の言い回しに読み慣れさせる。 ・「矛盾」ということばが現代にも生きていることを感じさせる。	
2	1	○いろいろな故事成語を調べ、その意味を理解する。	・他にも現代、日常的に使われてる故事成語があることに気づかせる。	・ワークシート ・国語便覧 ・関連図書資料 他
3	1 1	○故事成語を現代の暮らしに置き換えた四コママンガにしてみる。 ・起承転結 ・台詞の工夫 (わかりやすさ・ユニークなもの) 【校内職員・町内学校図書館司書へ公開授業】 ○グループ内(各6人)で、各自作品を発表する。 ○グループで意見を交換し、代表作品を決める。	・約20の故事成語を提示し、その中から各自選択させる。 ・「四コママンガ」が伝えていることと、故事成語の意味がマッチしているか確認する。 ・評価の視点を明確にしておく。 (「作品を紹介しよう」ワークシート)	・ワークシート
4	1	○グループ発表する。 ・一人一場面 ○学習を終えた感想を書き、発表する。 ○故事成語について書かれた他の図書の紹介を聞く。	・ワークシートの①～⑥を6人で役割分担し、発表させる。 ・プレゼンテーション型の発表へつながっていくよう、要点を押さえていく。	・ワークシート ・教材提示装置 等
展示		○全員の作品を教室に展示する。		

3 本授業を通しての町内小中学校の連携

○本時(4/5)の授業は校内職員・町内学校図書館司書への公開授業とした。

授業後、本時の授業の関連情報について、町内学校図書館司書6名・町学校図書館コーディネーターと協議した。

- ・小学校4年生国語教科書に載っている「故事成語」と中学校での学習の関連(系統性)
- ・四コママンガ(起承転結)から、四場面のプレゼンテーション型発表への発展の仕方
- ・発表への評価の仕方 等

1年生国語「故事成語」の実践より

- ① 故事成語の「四コママンガ」の例（塞翁が馬）の紹介を見て、学習のイメージを持つ。



- ② 各自、現代の暮らしに置き換えて、故事成語の「四コママンガ」を考える。



- ③ グループで各自、自分の作品を発表する。
友だちの作品を見ながら、評価し、メモする。
代表作品をどれにするか、話し合う。



- ・公開授業とし、校内職員や町内学校司書・学校図書館コーディネーターも参観する。
また、授業後、関連内容等について学校司書で情報交換する。→[小中学校連携の取組へ](#)



- ④ グループで一人一役を決め、資料提示装置を使って、発表する。



○今後プレゼンテーション発表へつなげていく。